

# 「ドキドキしたひ」

鹿児島市立松元小学校一年

濱村 はまむら

奏佑 そうすけ

「ええ・・・！うそでしょう？」

おかあさんが、おどろいたかおでしばらくのあいだかたまっていました。

かぞくみんなできをつけて、おにいちゃん  
の三かげつご、またそのあとのけんさもずつ  
とよいけつかがでることをねがいたいです。

はなしをきいてみると、ちゅうがくせいのおぼくのおにいちゃんが、がっこうけんによる一かいめのけんさでひっかかり、二かいめのけんさをうけましたが、またけっかがわるく、三かいめのくわしいけんさをうけるようにがっこうからおてがみをもらってきたようです。

ごじつ、三かいめのけんさをうけて、けっかはおおきなびようきではないことがわかりました。

ぼくはだいすきなおにいちゃんがびようきだったらどうしよう・・・とドキドキしていたのでホツとしました。しかし、これからも三かげつおきにけんさをうけて、びようきになつていかないかかくにんしなければならぬようです。

おにいちゃんは、しょうがっこう三ねんせい  
のときからやきゆうをしていて、ひといち  
ばいげんきだとおもっていました。しあいの  
ときはそのおべんとうをたべることがお  
おかつたので、えんぶんをおおくとりすぎた  
のかもしれません。

そのことがあつてから、おかあさんはうす  
めのあじつけにきをつけてりょうりをつくり、  
すいぶんもしっかりとるようにうるさくなり  
ました。